

NTT ドコモ様の 5G 商用サービス向け基地局無線装置として O-RAN フロントホール仕様に対応した電気興業（DKK）の無線装置が選定

電気興業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：近藤忠登史、以下 DKK）はこのたび、株式会社 NTT ドコモ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：井伊 基之、以下、NTT ドコモ）様が構築する 5G（※1）の商用サービス向けの無線装置に、DKK が開発する O-RAN フロントホール仕様（※2）に対応した 5G の無線装置が選定されたことを公表いたします。本無線装置は、2021 年度下期より提供を開始します。

【無線装置の特長】

DKK が開発する 5G 無線装置は、下図に示すように基地局アンテナに併設され、基地局制御装置との通信を担うフロントホールのインタフェースに O-RAN 仕様を採用しています。これにより、当社の無線装置は O-RAN 仕様に準拠する異なるベンダーの基地局制御装置との接続が可能となり、ベンダーに依存しない柔軟なネットワーク構築が可能となります。

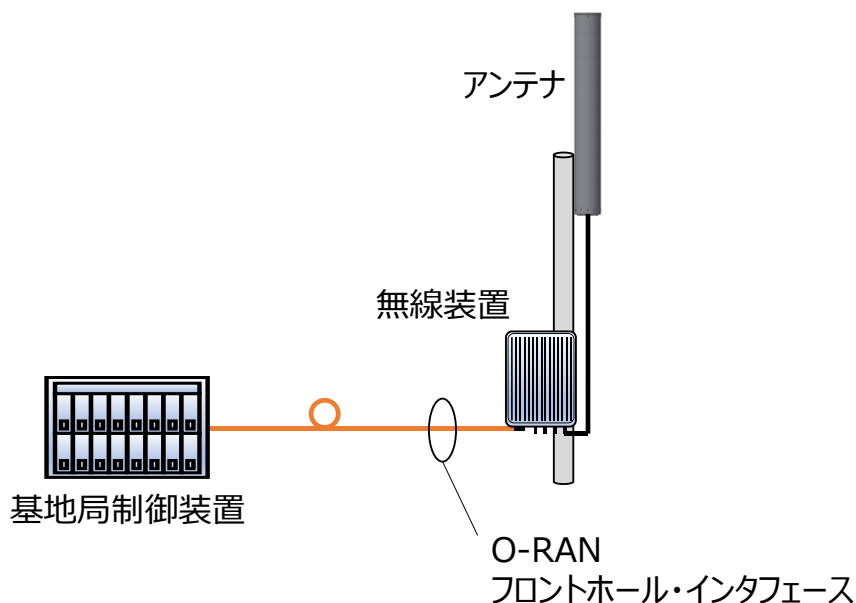


図. 5G に対応した基地局構成例

【今後の展開】

DKK はこれまで、NTT ドコモ様へ基地局アンテナを提供してまいりましたが、O-RAN フロントホール仕様に準拠した無線装置の開発・提供を通じて、より幅広くNTT ドコモ様の高度な 5G 商用サービスの展開に協力してまいります。また、O-RAN アライアンスの一員として O-RAN 仕様の普及にも貢献していきます。

【株式会社 NTT ドコモ 無線アクセス開発部長 安部田 貞行 氏のコメント】

電気興業様の O-RAN 準拠の 5G 無線装置をドコモのネットワークに導入することで、自由度の高いネットワークの構築と、お客様のニーズに沿う 5G サービスを柔軟に提供できると考えています。今後とも 5G エリアの拡大と安定した通信の提供をめざし電気興業様と協力していきたい。

※1 5G：第五世代移動通信システム

※2 O-RAN フロントホール仕様：O-RAN Alliance によって策定されているインタフェース仕様
DKK も 2019 年から O-RAN Alliance へ参加している。